

3年保育4歳児 うめ組

平成26年10月14日(火)

在籍 31名

担任 梅本 理紗

保育補助 阿部 奈津代

1 主な活動 『うめ組水族館で遊ぼう』(体育館)

2 幼児の実態(9月上旬)

- (体を動かすことへの取組：◎ 遊び：○ 人との関わり：● 生活：☆ 学級で取り組む活動：□)
- ◎ 戸外では、スクーターやサッカーごっこ、なわ跳びなどをして楽しんでいる。スクーターは、繰り返し取り組む中で、長い時間片足でバランスをとって乗ることができるようになってきた。また、なわ跳びでは、何回か続けて跳んだりすることができるようになってきた。しかし、これらは取組方に差があるため個人差も見られる。
 - ◎ □ 学級や学年のみんなとかげっこをしたりリズムを踊ったりすることを楽しんでいる。しかし、2、3人の幼児は、みんなと一緒にすることの楽しさを感じているものの、気分や日によって参加できない姿が見られる。
 - 室内では、ごっこ遊びや中型積木、空き箱製作等を繰り返し楽しんでいる。遊びに必要な食べ物や衣装を自分で作ったり、教師と一緒に作ったりすることを楽しむ姿が見られる。
 - 自分のやりたいことや欲しい物などを、友達に伝えようとする姿が少しずつ見られるようになってきたが、言葉が足りなかったり、互いの思いが違ったりすることでトラブルも見られる。
 - ☆ 身支度や弁当準備など身の回りのことに進んで自分で取り組んでいる。
 - ☆ 自分が遊んでいた遊具や場を進んで片付けたり、友達が遊んでいた場を手伝ったりする姿が見られるようになってきた。

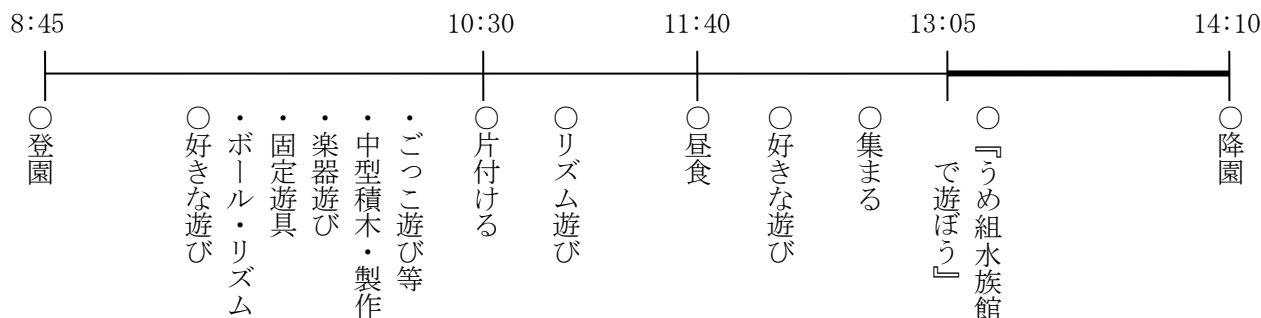
3 期のねらい(4歳児Ⅳ期 10月中旬～12月)

- 自分の好きな遊びを繰り返し楽しみ、思いを実現していく楽しさを味わう。
- 気の合う友達と遊ぶ中で、互いに思いや動きを出しながら遊びを楽しむ。
- みんなと一緒にすることを楽しみ、友達の動きを感じながら動く。
- 生活の流れを感じ取り、必要なことを自分からしようとする。

4 週のねらい

- 自分なりのめあてをもって、自分のやりたい遊びに取り組む楽しさを感じる。
- 友達との遊びで、自分の思いを出したり、相手の気持ちに気付いたりしながら楽しむ。
- みんなと一緒に体を動かすことを楽しみ、友達の動きを感じる。

5 一日の流れ



6 本時のねらい

○水族館や海の生き物のイメージをもって体を動かして遊ぶことを楽しむ。

7 期待する主な動き

・登る ・渡る ・跳び降りる ・跳び越える ・くぐる ・またぐ ・仰向けで進む など

8 研究主題との関連

【研究主題に迫るための工夫点・具体的手立て】

・水族館にいる生き物になりきりながら、好きな環境に関わり、多様な動きを楽しめるようにする。

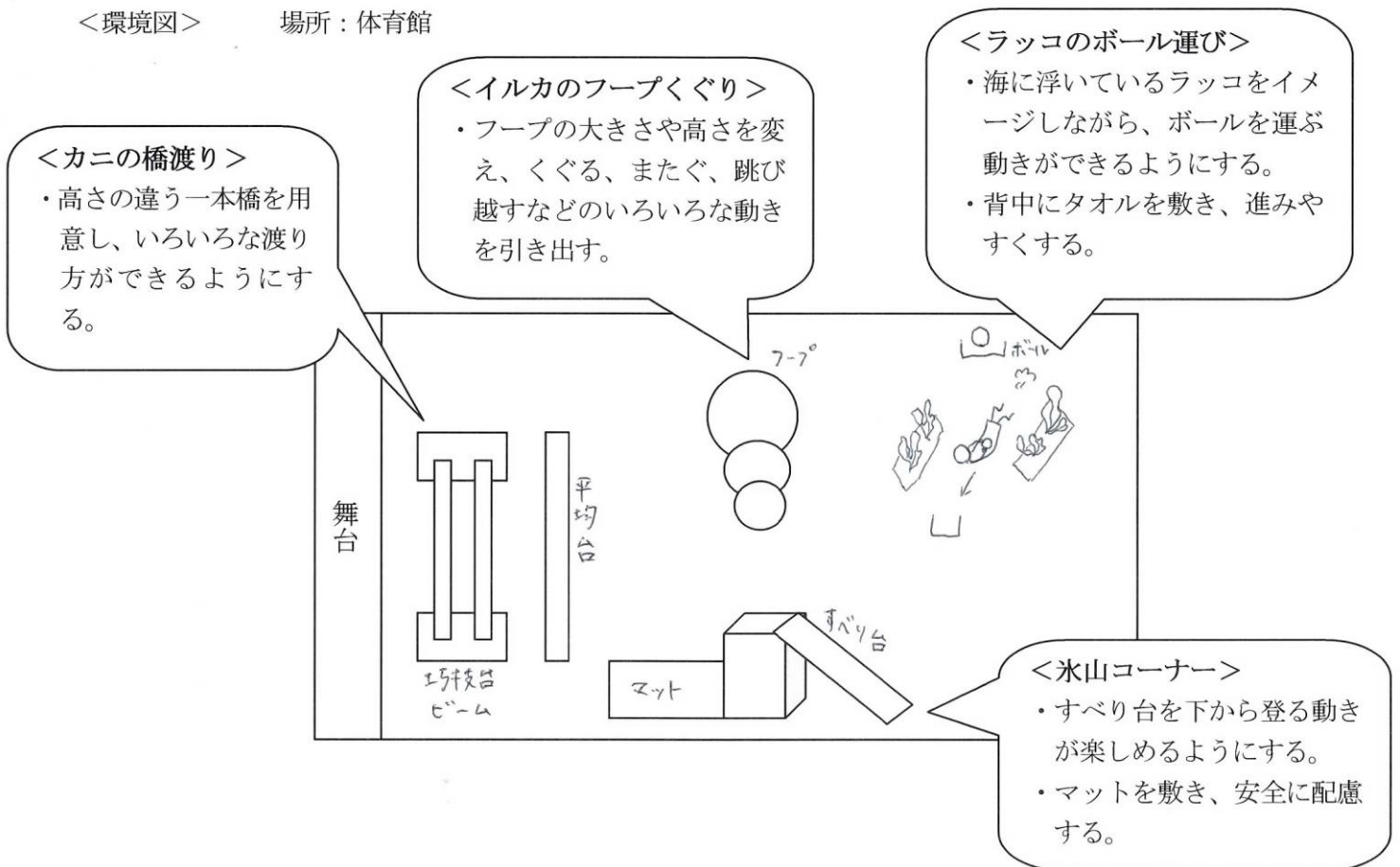
…**イメージ**

・幼児が好きな場を選び、自分のペースやタイミングで、繰り返し取り組んだり、いろいろな動きや遊び方を自分なりに試したりしながら遊びを楽しめるようにする。…**自由性・選択性**

・自分なりに試したり考えたりしながら繰り返し取り組む姿を認め、周りの幼児が友達から刺激を受けながらいろいろなやり方で楽しめようとする。…**自由性・選択性** **目標**

・よい動きを認めたり、自分なりに頑張る姿を具体的な言葉で誉めたりして次への意欲につながるようにする。…**目標**

<環境図> 場所：体育館



9 展開 体育館 (13:05~13:50)

時間	幼児の活動	経験してほしい内容	ねらい達成のための教師の援助
13:00	○集まる、体育館に行く	・これからすることに期待をもって準備する ・1列で、静かに移動する	

<p>13:05</p> <p>○教師の話聞く</p> <p>○うめ組水族館で遊ぶ</p> <p>・冰山コーナーでペンギンになりきって遊ぶ (冰山を登る、降りる)</p> <p>・カニやアザラシになりきって遊ぶ (一本橋を渡る)</p> <p>・イルカになりきってフープをくぐる</p> <p>・ラッコになりきってボールを運ぶ</p>	<p>・コーナーの紹介を聞き、遊び方や約束を知る</p> <p>・好きなコーナーを選ぶ</p> <p>・水族館のイメージで生き物になりきりながら場に関わる</p> <p>・自分なりにいろいろな遊び方や動きを試したり、考えたりしながら遊ぶ</p> <p><冰山コーナー></p> <p>・滑り台を登る (走って、ゆっくり、両手を付きながら)</p> <p>・巧技台から跳び降りる</p> <p><カニの橋渡り></p> <p>・バランスを取りながら渡る (横向き、前向き)</p> <p>・腕の力でビームの上を進む</p> <p><イルカのフープくぐり></p> <p>・フープの大きさや高さに合わせて体の向きや動かし方を変えながらくぐる、またぐ、跳び越える</p> <p><ラッコのボール運び></p> <p>・ボールを持って腹の上に乗せ、仰向けになって進む</p>	<p>*イメージをもって動きを楽しめる援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が海の生き物になりきって動き、水族館のイメージがもてるようにする。 ・海のイメージがもてるような言葉を掛けたり、環境を設定したりする。 ・幼児が自分なりのイメージでなりきって動く姿を認める。 <p>*動きの自由さや選択性が保障された環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーナーの回り方は決まっていなかったことを知らせ、自分のペースで回れるようにする。 ・自分なりに遊び方や動きを試したり、考えたりする姿を認める。 <p>*意欲がもてるような具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コーナーを紹介し、どこで何ができるか分かるようにする。 ・それぞれの取組方を受け止め、よい動きや自分なりに頑張る姿を認める言葉を掛ける。 ・一人一人の楽しんでいることやできた喜びに共感する。 ・幼児の動きや楽しんでいることを周りの幼児に聞こえるようにつぶやきながら、友達の姿に興味をもてるようにする。 <p>・楽しかったことを振り返りながら、落ち着いて降園できるようにする。</p>
<p>13:40</p>	<p>○片付ける</p>	<p>・楽しかったことやがんばったことを話す</p>
<p>13:50</p>	<p>○保育室に戻る</p>	<p>・集まり、1列に並ぶ</p>
<p>14:00</p>	<p>○降園準備</p>	<p>・身の回りのことを自分で行う</p>
<p>14:10</p>	<p>○降園する</p>	<p>・落ち着いて降園する</p>

10 評価

○海の生き物になりきりながら体を動かして遊んでいたか。

○自分で好きなコーナーを選んで取り組んでいたか。